

『聖霊様と共に』 ～気持ちを理解していますか～

使徒2：1～4

聖霊様と共に歩んでいますか？神様はあなたの中心にいて下さいます。聖霊様はあなたの誤りを元に戻して下さる方です。この聖霊様はどのようなお方か知っていますか？神様をモノ扱いしていませんか？今日はペンテコステの日です。ペンテコステは50という意味です。イエス様が復活されてから50日目の日、聖霊様が弟子たちの上に出た日です。その聖霊様は今も私たちと共にいて下さいます。聖霊様はイエス様がどのような方か？を教えて、イエス様を証する為に来て下さいました。使徒の働きで書かれている「聖霊様」はギリシャ語でパラクレートスと言って、助け弁護するという意味があります。女性名詞になります。女性的な表現がされています。女性は綺麗なところが好きなようですが、同じように聖霊様は綺麗なところを好んでいて、聖霊様は綺麗な所にしかいません。「Iコリント 15:45 - 46 聖書に「最初の人アダムは生きた者となった」と書いてありますが、最後のアダムは、生かす御霊となりました。最初にあったのは血肉のものであり、御霊のものではありません。御霊のものはあとに来るのです。」最後のアダムは、イエス様の事です。私たちは死ぬべき存在だったのに、イエス様によって生かされました。生かされている私たちは聖霊様によって生きなくてははいけません。聖霊様によって生きていくには聖でなくてはいけなくて、聖くないと聖霊様は働きません。旧約聖書の律法は罪を知るためにあります。罪を意識するためにありますが、私たちは自分の力では守る事が出来ません。でも聖霊様が私の内に来られると神様に喜ばれない事が何であるかを知ることが出来ます。私たちは自己義の中で歩んでいますが、聖霊様はその自分は正しいという思いを取り去って下さいます。

「聖霊様と共に（人格者として）」 聖霊様は人格者です。聖霊様と共に歩むのなら聖霊様を人格者として受け入れないといけません。聖霊様は聖霊様ご自身が好む所に働きます。新しくならないと聖霊様は働いて下さりません。新しくされないと自分が生きてしまっている事になるので、聖霊様が働きません。「IIコリント 5:17だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」だからいつでも聖霊様を迎え歓迎して『聖霊様おはようございます』という思いを持って進んでいきましょう。聖霊様の人格をしっかりと見て向き合う事がまず大切です。そして自分自身の人格を見、感じて自分を知る必要があります。自分の人格を見た上で隣の人をしっかりと見ていきましょう。

「聖霊様と共に（悲しませてはいけない）」 エペソ4：2～6、4：25～32

「エペソ4:30 神の聖霊を悲しませてはいけません。」

聖霊様は赦せない心を喜ばれません。赦す事が難しいと思われるかも知れませんが、聖霊様は赦せない心を作りかえて下さいます。そして赦す事が出来るように心をつくり変えて下さいます。そして自分自身で悪いものを捨てて、悪魔に機会を与えないようにしなくてははいけません。聖霊様を悲しませないように、聖書の御言葉を大切に、神様の御声に従っていきましょう。

「聖霊様と共に（あなたは神様の神殿）」

「Iコリント 3:16 - 18 あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。もし、だれかが神の神殿をこわすなら、神がその人を滅ぼされます。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたがその神殿です。だれも自分を欺いてはいけません。」

私たちは神様の神殿です。神様が喜んで住まわれるような場所としなくてははいけません。だから聖となろうという思いがとっても大切です。その為に神様と共に悪い思いと戦わなくてははいけません。神様と共に戦うときに悪い思いに打ち勝つことが出来ます。神様の神殿である私たちの所に多くの人々が来ます。だから神様の証をしっかりと握っていないといけません。その為に聖霊様が喜んで住まわれないといけません。聖霊様と共に歩いてイエス様の証人として歩いていきましょう。（要約者：渡辺 将宏）